

サイバーセキュリティ岐阜

平成 29 年第 11 号

岐阜県警察本部
生活環境課
サイバー犯罪対策室

ハードウェア型のキーロガーに注意！

本年10月、県内の中学校に侵入し、パソコンにハードウェア型のキーロガーを取り付けてパスワードを盗み取り、中学校のサーバーに不正アクセスした男を検挙しました。



キーロガーは、本来キーボードの操作を記録して、不正使用の防止や不具合の原因究明などの目的で用いられるものですが、最近では、IDやパスワードを盗み取るなど犯罪に悪用される事案が増加しています。

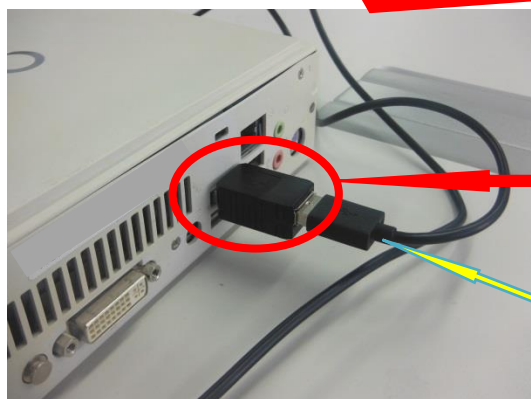
キーロガーにはソフトウェア型とハードウェア型があります。ソフトウェア型は、Webやメール経由で感染することが多く、OSやソフトウェアなどの脆弱性を利用してパソコンに侵入します。一方ハードウェア型は、多くがキーボードとパソコンの間に物理的に挿入されるタイプのもので、パソコン内部に侵入するウイルスではないため、ウイルス対策ソフトなどで検知することはできません。



注 意

ハードウェア型のキーロガーを防ぐためには、パソコンとキーボードのコネクタの間に不審なものが接続されていないか目視で確認することが重要です。

もしかしたら、あなたのパソコンにも取り付けられているかもしれません・・・



ハードウェア型（USB型）キーロガー



キーボードのコネクタ